

2～3日、ヴェスターヴェレ独外相の来訪
2～3日、シュヴァロフ露第一副首相の来訪

A. 主な動き

1. 内政

最高会議の動き

- ・1日、マルティニューク最高会議副議長は、BYT議員2名及びNUNS議員1名の計3名の地域党加入を発表。地域党議員は184名に増加、一方、BYT議員は105名、NUNS議員は68名にそれぞれ減少。
- ・2日、ナリヴァイチェンコNUNS議員は、NUNS議員11名による議会グループ「我々のウクライナ」結成を発表。
- ・2日、リトヴィン最高会議議長は、指紋センサーを搭載した新たな最高会議投票システム導入の可能性に言及。これに対し、マケエンコ地域党議員は、同決定には最高会議議員過半数の賛成による最高会議規定改正が必要となると指摘。

民主主義に対する評価

- ・1日、テイラー前駐ウクライナ米大使及びパイファー元駐ウクライナ米大使は、ヤヌコーヴィチ大統領就任後一年間の民主主義後退に懸念を表明し、西側各国に同問題への関与を呼びかける旨の記事をニューヨーク・タイムズ紙に共同で投稿。
- ・3日、フィーレ拡大・欧州近隣政策担当欧州委員は、ウクライナの民主主義停滞が東欧各国との関係強化を図るEUの政策に影響することはないと発言、政治改革実施を促すために今後もウクライナに圧力をかけ続けると表明。

その他

- ・3日、最高会議は、クリミア自治共和国における土地取引を自由化する法案を可決、クリミア自治共和国政府は同地域の土地利用に関する各種権限を取得。
- ・4日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ホリン外務次官を解任し、同次官を駐オランダ大使に任命する大統領令を発出。

2. 経済

マクロ経済

- ・28日、国家統計サービスは、2010年第4四半期のGDP成長率を3.0%、また、2010年のGDP成長率を4.2%と発表。
- ・28日、財務省は、1月31日時点におけるウクライナの直接対外債務額が前月末比1.2%増の231億1,370万ドルと発表。

ガス問題

- ・28日、ポイコ・エネルギー・石炭産業相は、ミレル露ガスプロム社長と会談、両国のガス分野における戦略的協力強化に関する諸問題につき協議、合併企業創設に関するナフト

ガスと露ガスプロム間のメモランダム案を検討。ミレル露ガスプロム社長は、2月にウクライナは契約量を10億立方メートル上回るガスを購入した旨発表。

- ・1日、ポイコ・エネルギー・石炭産業相は、ウクライナが本年末までに国際機関からガス輸送システム近代化のための資金を受領する見込みと発表。

- ・1日、ポイコ・エネルギー・石炭産業相は、ウクライナが2012年までに国内のシェールガス埋蔵量の評価を行う予定と発表。

- ・1日、ポイコ・エネルギー・石炭産業相は、2011年にウクライナは露より約400億立方メートルの天然ガスを購入する予定と発表。

- ・1日、バクーリン・ナフトガス社長は、2011年末までに露の天然ガスが1,000立方メートルあたり300ドルに達する予定と発言。

その他

- ・26日、トメンコ最高会議副議長は、税法典改正後に税務当局の査察回数が増えたことにより、賄賂の受け渡し等の汚職が増加している旨指摘。

- ・27日、フォール駐ウクライナ仏大使は、国家税務・税関当局の活動が海外からの投資を妨げていると指摘。また、税務当局の査察が頻繁に実施されることにより、企業の活動が妨げられている、更に知的財産権が適切に守られていない旨発言。

- ・28日、チギブコ副首相は、閣僚会議が3月末までに調達関連法を含む国家独占を排除するための一連の法案を最高会議に提出予定と発言。

- ・1日、VATの自動還付制度導入開始。

3. 外政

▼2日、ヤヌコーヴィチ大統領とバイデン米副大統領の電話会談

- ・ヤヌコーヴィチ大統領とバイデン米副大統領は、2月15日に米国で開催された第3回ウクライナ・米戦略パートナーシップ委員会会合の結果を評価、ウクライナ社会における民主主義強化、核安全保障分野における両国間の義務達成状況につき協議。バイデン米副大統領は、前政権閣僚に対する恣意的な政治圧力排除の重要性を指摘。

▼2～3日、ヴェスターヴェレ独外相の来訪

- ・2日、グリシチェンコ外相は、ヴェスターヴェレ独外相と会

談、ウクライナの欧州統合及び国際場裡における二国間協力等につき協議。

・2日、ヴェスターヴェレ独外相は、ティモシェンコ前首相との会談及びタラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学における講演を実施、中東地域における現在の政情に言及しつつ、欧州がウクライナを含めた東欧の政情を見過ごすことはないと言。

▼2～3日、シュヴァロフ露第一副首相の来訪

・3日、リョーヴォチキン大統領府長官は、シュヴァロフ露第一副首相と会談、2011年4月実施予定の第8回ウクライナ・露二国間委員会経済協力委員会会合、及び2011年実施予定の第5回ウクライナ・露二国間委員会定例会合に向けた、ウクライナ・露協力の喫緊の課題につき協議。シュヴァロフ露第一副首相は、経済・貿易における両国間協力の発展に対し満足の意を表明。

▼その他

・2日、クリューエフ第一副首相は、ブリュッセルにおいて、フィーレ拡大・欧州近隣政策担当欧州委員等と会談、両者は約4億7千ユーロからなるウクライナに対するEU国家計画援助プログラムに署名。クリューエフ第一副首相は、チェルノブイリ事故25周年関連行事へバローゾ欧州委員長を招請、ヤヌコーヴィチ大統領によって2011年のEU査証廃止行動計画履行のための国家計画が策定予定と言。フィーレ欧州委員は、経済的発展のみならず、選挙法及び司法制度改革を含めた民主主義の発展をウクライナに対し希望する旨言。

・3日、ヤヌコーヴィチ大統領は、グリシチェンコ外相を代表とするウクライナ・NATO間パートナーシップ委員会を設立する旨の大統領令を發出。

4 . 防衛

エジェリ国防相のロシア訪問

・27日、エジェリ国防相は、訪問先の露オレンブルグにおいて、ウクライナ海軍と露黒海艦隊との共同演習等は実施可能

B . その他の動き

2 / 28 (月)

・検事総局は、コソボ安全保障部隊(KFOR)におけるウクライナ平和維持部隊の燃料部門長に対する刑事事件を発動。同燃料部門長は、2008年から2009年、職権を乱用し公文書を作成することにより、民間会社に120万リットル以上の燃料を渡し賄賂を得ていたとされる。

3 / 1 (火)

・大統領府は、ヤヌコーヴィチ大統領は2月28日に膝の手術を受けたが、1日より公務に復帰した旨発表。

3 / 3 (木)

であると言。これに対しセルジュコフ露国防相は、我々は陸海空におけるあらゆる枠組みにおいてウクライナとの共同軍事演習を実施することを提案すると言。また、セルジュコフ露国防相は、露の新型戦略ミサイル建造に関し、ドニプロペトロフスクの「Southern Machine-building Plant」からウクライナの専門家を招くことを除外しないと言。

リビア関連

・28日、欧州委員会は、リビアにおけるデモ隊に対する銃撃にウクライナ人パイロットが参加したとの報道に関し、全く情報を有していないとする一方、戦闘当事者の一つと契約をした個人がいるがそれらが傭兵であるか否か判断することはまだ困難であると発表。米情報分析企業STRATFORの情報として、トリポリにおけるデモ隊への銃撃を行ったリビアのミグ戦闘機をウクライナ人パイロットが操縦したと報道されていた。

海賊被害

・28日、アラビア海において、ウクライナ人2名が搭乗するパナマ船籍のギリシャ船「Dover」がソマリアの海賊により拿捕。

・3日、外務省は、現在海賊に拿捕されているウクライナ人は11名と発表。

その他

・2日、エジェリ国防相は、ウクライナ軍は、2010年の20万人から、2011年末までに軍人14万4,000人を含む19万2,000人になる予定と言。

・4日、エジェリ国防相は、国防省の次官ポストが7ポストから3ポストに削減される予定と言。

・リベリアにおける国連平和維持ミッションの一部であるウクライナ軍第56ヘリコプター派遣部隊からMi-24ヘリコプター2機と軍人30名をコートジボワールに派遣。コートジボワールの平和維持部隊を増強することが決定されていた。

3 / 4 (金)

・ウクライナで最も権威のある文学賞であるタラス・シェフチェンコ賞の受賞が決定していた作家のシュクリャル氏は、タバチク教育科学・青年スポーツ相の在任を理由に、同賞の受賞を拒否する旨の書簡をヤヌコーヴィチ大統領に送付。(了)